

令和2年度第1回豊臣石垣保存公開検討会議要旨

1. 開催日時：令和3年1月13日（水）～1月19日（火）

2. 開催方法：書面決議

3. 出席者

【委員】中村座長、西形委員、岸本委員、伊藤委員（順不同、敬称略）

4. 議事

1. 昨年度の検討状況

2. 石垣の現状

3. 石垣保存に必要な措置の検討

- ・石垣の安定性の向上に向けた対策
- ・石垣石材の劣化対策
- ・乾燥による塩類析出や石垣背面盛土の支持力低下への対応
- ・石垣周辺環境のモニタリング
- ・石垣背面盛土モニタリングのためのボーリング調査

4. 大地震時の石垣崩壊に対する安全確保について検討状況の報告

5. 事業スケジュール

6. 今後のスケジュール

7. その他

- ・募金の状況
- ・特別史跡大坂城跡整備計画

5. 議事要旨

○石垣保存の安定性の向上に向けた対策

- ・間詰石は、必要最低限の箇所のみ充填することとし、充填する間詰石は石垣付近に落石した石材を利用する。ゆるみのある間詰石は押し込み固定する。
- ・浮き石は取り外す。
- ・築石のワレ・ヒビは薬剤を注入し、固定する。
 - ➡・「浮き石」の取り扱いには慎重にすること。築石に乗っている場合、あまり小さな石であれば、そのままでもいいかもしれないが、除きすぎないようにすること。

○石垣石材の劣化対策

- ・石垣全面に石材強化剤OH100と強化剤OM10を塗布し劣化対策を行う。
 - ➡特に意見なし。

○乾燥による塩類析出や石垣背面盛土の支持力低下への対応

- ・石垣の乾燥を防止するため、湿度を高く保つ対策を実施する。
 - ・石垣背面の情報を得るために、石垣背面の盛土部分に観測用パイプを設置し、土壌水分量のモニタリングを行う。
- ➡特に意見なし。

○石垣周辺環境のモニタリング

- ➡・モニタリングについてデータ回収やそのデータの検討などを行なう体制を考えておくこと。

○石垣背面盛土モニタリングのためのボーリング調査

- ➡特に意見なし。

○大地震時の石垣崩壊に対する安全確保について検討状況の報告

- ➡・地震は突然やってくるものだが、観覧者がまったく石垣に近づけないという事態は避けるべきではないかと思う。何か工夫をして間近に迫れるようにしてほしい。

○その他

- ➡・今後の検討課題として、「石垣の観覧者への見せ方について」の検討が必要かと思う。
- ・今後の検討課題の 3 項目について、どのタイミングで行なうのか、いつまでに詰めるのか、明確にした方が良い。
 - ・以後、実施に向けた具体的な問題が出てくるかと思うので、その都度、検討が必要になると思う。

・ 間詰石の充填、OH剤の塗布、石垣背面盛土へのボーリングについては、事務局提案の方法で文化庁に現状変更申請を提出し、実施する。

・ 乾燥対策、モニタリング方法、安全確保については、いただいたご意見をふまえ、引き続き検討する。

以上